

# はぐくみ

## 学校評価報告について

～声に耳を傾け、データに基づき、「良い学校」から「もっと良い学校」へ～

北海道七飯養護学校おしま学園分校教頭 湯谷 教利

日頃より、本校の教育活動に対し、多大なる御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度も残すところわずかとなりました。この一年を振り返り、来年度へ向けて新たな一歩を踏み出す大切な時期を迎えています。

さて、今年度の学校評価におきましては、保護者の皆様、おしま学園職員の皆様、そして地域の皆様に多大な御協力をいただきました。今年度は、より皆様の声を的確に反映させるべく、回答方法をオンラインフォームへ移行し、評価尺度も従来の4段階から5段階へと変更いたしました。これは、「どちらともいえない」といった中立的な御意見も含め、多様な背景や価値観をお持ちの皆様の率直な思いを、より細やかに汲み取りたいと考えたからです。

集計の結果、多くの項目において「よくできている」「できている」との高評価をいただき、職員一同、大変励みになりました。また、記述いただいたコメントには、温かい応援のメッセージも多く寄せられました。今回、寄せられた全てのコメントについて、AI（人工知能）を活用した分析を行いました。その結果、皆様からいただいた御意見の中には、現状への満足にとどまらず、「この学校ならもっと良くなるはずだ。」「さらに質の高い教育をしてほしい。」という、本校への大きな「期待」が込められていることが浮き彫りになりました。厳しい御意見も含め、平均値が高かったことは、皆様が本校を「良い学校」と認めてくださった上で、さらに「もっと良い学校」へと成長することを願ってくださっている証であると受け止めています。

一方で、私たち教職員自身が行った自己評価は、保護者の皆様からの評価に比べ、厳しい結果となりました。これは、教職員一人一人が現状に満足することなく、「根拠に基づいた授業づくり」や「学校組織の在り方」に対して、高い理想を持って向き合っていることの表れでもあります。今年度の振り返りにおいて、「子どもたちの目線」に立ったとき、学校がどう映っているかを深く分析しました。その中で見えてきた課題の一つが、教職員間での指導や支援の「基準の統一」です。先生によって、あるいは場面によって指導の基準が異なれば、子どもたちは「誰の言うことを聞けばいいのか。」と迷い、不安を感じてしまいます。子どもたちが安心して学び、活動できる環境を作るためには、私たち教職員が「チーム学校」として共通の理念を持ち、組織的に動くことが不可欠です。今年度の評価結果を受け、現在は学部や分掌ごとに、指導の指針や業務の在り方を見直す話し合いを重ねています。これは、子どもたちにとっての「分かりやすさ」「公平性」を担保し、安心感を高めるための重要なプロセスです。

また、教職員が心身ともに健康で、やりがいを持って子どもたちと向き合える「ウェルビーイング」な学校であることも、質の高い教育を持続するためには欠かせません。業務のスクラップ・アンド・ビルドを含めた働き方改革を進め、そこから生まれた時間と心のゆとりを、教材研究や子どもたちとの関わりに還元していきたいと考えています。

特別支援教育において、教育の成果は数字だけで測れるものではありません。しかし、だからこそ、皆様からの評価という「客観的な根拠」と、そこから見出される課題に真摯に向き合うことが重要です。AIによる分析やデータに基づいた客観的な視点を取り入れつつ、最終的に大切にするのは、子どもたち一人一人の笑顔と成長です。「1」だった評価が「2」へ、「2」が「3」へと、学校全体がワンランクアップしていくために。いただいた御意見を糧に、全職員が主体的に学校経営に参画し、地域とともにある学校づくりに邁進してまいります。

今後とも、本校の教育活動への変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ 今年度の学校評価結果については、本校の Web ページより御覧ください。



### 「ワークライフバランスを意識しよう！」～自分を労ることも大切な仕事～

ワークライフバランスという言葉が最近よく耳にするようになりました。ワークライフバランスは、単なる時短ではありません。大切なのは「オン・オフの境界線」を意識することです。

御家庭や寮、学校等において、子どもたちとより良い関わりをするためにも、ワークライフバランスを整えることには大きな意味があります。

「いつもより5分だけ早く帰る」「休憩時間は好きな飲み物を飲んで一息つく」「休日は趣味の時間を確保する」といった小さなことから始めてみましょう。そうすることで心に余裕を持って子どもたちと向き合い、寄り添い、心を通わせることができると思います。子どもたちと関わる上での大人の元気な姿や笑顔、包容力はきっと子どもたちの成長する力に繋がるはずです。

簡単なセルフケアチェックを canva で作成してみました。  
ぜひ活用してみてください。（文責：養護教諭 高橋）



### 「高等部現場実習報告」

高等部では卒業後の移行を見据えて現場実習を行っています。第1学年は近隣の事業所での体験実習、第2学年は本人の進路希望や適性を考慮した実習先での体験実習、第3学年は進路希望先での前提実習をすることが基本の流れです。

今年度は第3学年がいなかったため前提実習はありませんでした。第2学年では6月と10月に北斗市の就労継続支援B型事業所での現場実習を行った生徒がいます、第1学年は12月と1月に当別地区の就労継続支援B型事業所、生活介護事業所で現場実習を行った生徒がいました。

現場実習では、学校と違う環境や雰囲気緊張感や不安感もあったと思いますが、どの生徒も支援員さんの説明を聞いてしっかり作業に取り組み、実習先の日課をこなすことができました。

受け入れ先の事業所の方々をはじめ、送り出してくださる寮職員さん、保護者の皆様の御理解と御協力のおかげをもちまして、今年度の現場実習を無事実施することができました。深く感謝いたしております。

（文責：高等部進路支援担当 郡川孝行）



### 3月の行事予定

月	日(曜日)	行 事	月	日(曜日)	行 事
3月	5日(木)	お別れ会(高)		13日(金)	卒業証書授与式
	6日(金)	卒業を祝う会(中)		24日(火)	修了式・離任式
	11日(木)	おめでとう会(小)		25日(水)	学年末始休業(～4/8)

※今後、行事が変更になることがあります。その場合は早めにお知らせします。